

認知症を理解する教室

認知症に対する不安を減らし、今後の暮らしに備えることができるよう、専門の医師や看護師が、認知症の基礎知識、対処方法などについて講演します。

また、認知症の方が地域で暮らし続けることを支える各種事業や、医療・福祉サービスの紹介もします。



山形県立こころの医療センター
認知症看護認定看護師
渡部 真紀さん

正しい知識を得ることで、これまで気付かなかった症状に気づき、どうすれば良いか分からなかった場面に対応できるようになります。誰にでも認知症になる可能性があります。認知症への理解が広がって、鶴岡がお互いに助け合えるまちになればうれしいですね。

日・場 9月5日④・にこ♥ふる（詳細は本紙10ページ）、
10月3日④・にこ♥ふる、12月5日④・湯田川コ
ミュニティセンター、来年3月6日④・にこ♥ふる

時 午前10時～11時30分

申 開催日の2日前まで本所長寿介護課へ

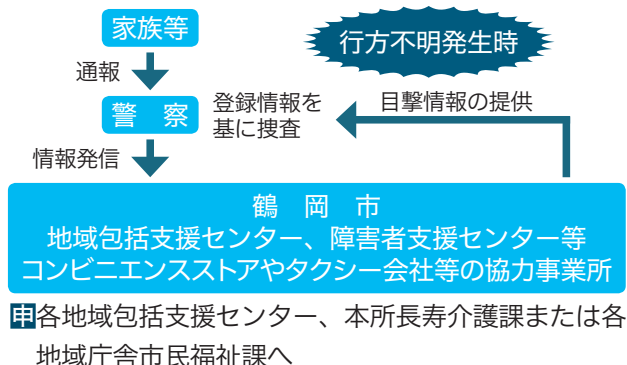
講師の方はご自身の家族を例にあげるなど、専門的な内容を身近なこととして、分かりやすく教えてください。同じテーマでも、その都度、新しい内容が加えられているので毎回発見があります。多くの方から何度でも参加してもらいたいです。



ボランティア
つるおかオレンジサポートの会
平田 充廣さん

SOS見守りネットワーク「ほっと安心」つるおか

行方不明になる心配がある高齢者等の情報をあらかじめ警察に登録し、関係機関や協力事業所と連携して、早期発見・保護につなげます。



8月から新しい取り組みが始まります！

見守りシール「どこシル伝言板」

事前登録した方の衣服などに、支援が必要であることが分かるようQRコードが印字されたシール



を貼付け。発見者がスマートフォンなどで読み込むことで家族等とやり取りでき、迅速に保護することができます。今年度はモデル事業として同ネットワークの登録者から対象者を選定し実施します。

街でシールを付けている人を見掛けたら、困っていないかの見守りや声掛けをお願いします。

つるおかオレンジチーム

認知症が疑われる方や、認知症の症状が強くお困りの方を初期の段階で医療や介護サービス等につなぐため、専門職がチームとなり集中的に支援します。

対 自宅で生活している40歳以上の方
申 各地域包括支援センターまたは本所長寿介護課へ



永寿荘地域包括支援センター
社会福祉士
成澤 真美さん

認知症サポート医、保健師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、社会福祉士等が連携してサポートします。

もの忘れ相談医制度

もの忘れ相談医とは、物忘れが気になる方をおかけ医と連携して診療したり、専門の医療機関に紹介したりする医師です。市では相談や受診をしやすくするため登録制度を設け、一覧にして紹介しています。詳しくは市HPをご覧ください。

気になることがあったら、遠慮なくおかけ医やもの忘れ相談医に相談しましょう。早期の受診が大切です。



石橋内科胃腸科医院
石橋 学 医師

認知症になっても 安心して暮らせるまち

現在、65歳以上の4人に1人が認知症またはその予備軍だと言われ、高齢化の進展に伴いその割合が年々増加しています。認知症は特別なものではなく、誰もがかかる可能性があるものです。

認知症の方が住み慣れた地域で、その人らしく生活するためには、皆さん一人ひとりが正しい知識を持ち、支え合うことが大切です。

認知症になっても安心して暮らし続けることができるまちづくりについて考えてみませんか。

◎問合せ 本所長寿介護課 ☎25 - 2111内線533

認知症カフェ ほっこりかふえ

認知症の方やその家族・地域の人・医療や福祉などの専門職等が、30分程度のミニ講話や個別相談、参加者同士の交流などを通して、認知症について一緒に学び、「ほっこり」した時間を過ごしています。

どなたでも参加できますので、認知症に関心のある方はぜひお越しください。

日毎月第1または第2木曜日午前10時～11時30分（11月は第1金曜日） ※8月は6日☎、9月は3日☎に開催。

場総合保健福祉センター（にこ♥ふる）

費100円（菓子代）

申開催日の2日前まで本所長寿介護課へ



認知症地域支援推進員
坂東 真由美

参加者には悩みを抱える方も多くいますが、月1回顔を合わせることが日々の頑張りにつながっていると聞きます。

市内にはほかにも13か所の認知症カフェがあります。地域に根ざし、みんなが同じ立場で学び語る場がもっと増えてほしいですね。

参加者同士の気兼ねのない会話が楽しみで毎回来ています。夫は趣味で撮った写真などを披露するのも楽しみなんです。

講話を参考にして、夫がデイサービスを利用するようになりました。私たちのように周りから支えてもらえる人が、少しでも増えればいいと思います。



参加者
佐々木 新一さん・秀子さん

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、認知症についての正しい知識を持ち、自分にできる範囲で手助けをする支援者です。

多くの方からサポーターになってもらうため各種企業・団体、小・中学校、高校等へ出向き養成講座を開催しています。修了者にはその証としてオレンジリング（リストバンド）を交付します。

日各地域包括支援センターまたは本所長寿介護課へ



あさひ小学校で開催の様子。寸劇なども交えて分かりやすく説明します。

つるおかオレンジサポートの会

認知症への理解を促進し、認知症の方やその家族を支えるボランティア団体です。認知症についての講師を務めたり、イベントの開催を手伝ったりして、認知症への偏見がなくなるよう取り組んでいます。入会を希望する場合は同会事務局 ☎turuoeresuport@yahoo.co.jpにご連絡ください。

最新の医療や介護の勉強会をするなど様々な活動をしています。一緒に認知症の方やご家族を支援しませんか。



副代表
中嶋 悦さん

各地域包括支援センター ▶第一学区・第四学区…「健楽園」☎25 - 0888 ▶第二学区・斎・黄金…「なえづ」☎26 - 9260 ▶第三学区・湯田川・田川…「つくし」☎29 - 1256 ▶第五学区・京田・栄…「永寿荘」☎29 - 2900 ▶第六学区・大泉・上郷・三瀬・由良・